

# 民主代表選 動き活発化

## 来月18日

17日の民主党の高院議員総会で、海江田代表の辞任表明に伴う衆代表選の日程が「1月7日告示、18日投票」と決まり、代表選が事実上、スタートした。細野憲志元幹事長が出馬の意向を正式表明し、立候補に必要な推薦人20人の確保など支持拡大に向けて動き始めたのに対し、各グループも対抗馬の擁立を視野に合会を開くなど、動きを活発化させた。新たな党の「顔」選びは激戦としていく。

△本文記事2面▽

## 各グループ 細野氏の対抗馬模索

細野氏は17日午後、国会内で、前原誠司元代表、長島昭久元防衛副大臣、松本剛明元外相と会談し、「今の議員9人と合会を開き、回は挑戦したいので、よろしくお願ひします」と理解を求めた。4人は衆院選連立を求めた。4人は衆院選連立を求めた。4人は衆院選連立を求めた。

細野氏は17日夕、国会内で記者団に、「安倍政権に反対する勢力が国会にはない。核を日本の政治に作



民主党の両院議員総会で、代表選について話す板野幹事長。右端が海江田代表代行（17日午後、民主党本部で）＝小林武仁撮影

他グループに支持を呼びかける。代表選の二つの争点、野党再編に取り組み姿勢だ。細野氏は17日夕、国会内で記者団に、「安倍政権に反対する勢力が国会にはない。核を日本の政治に作

同じく政界再編に前向きな前原氏のグループも17日午後、12人が集まり、対応

を協議した。前原氏の出馬を求める意見が出た一方、「今回は代表選未経験の若手が出るべきだ」との慎重な声も出た。前原氏は記者団に、「まったく白紙だ。どうすれば党が再生できるか、仲間と相談して決めた」と述べたこととされた。

また、前原氏と長島氏は17日夜、東京都内で会談し、対応を協議した。

一方、党の単独再建を重視する議員からは、対抗馬として、岡田克也代表代行を推す動きがある。岡田氏は17日夕、党本部で記者団に、「光榮なことだ」と語った。岡田氏周辺は「焦る必要はない。推薦人はすぐに集められる」と語った。

旧社会党系の赤松広隆前衆院副議長らのグループは17日昼、国会内で9人が集まり、「候補を擁立する意思で、事態を見守る」との

認識で一致した。赤松氏周辺は、「労組排除の維新の党と手を組もうとする細野氏には協力しにくい」と語った。

代表選のもう一つの争点は世代交代だ。1998年の結党に関わった赤松氏や菅元首相らを「第1世代」とし、若手からの擁立論が出た。一部に玉木雄一郎、前原両氏らを「第2世代」とし、細野、長島両氏らを「第3世代」と位置づける見方がある。今回はさらに若い世代もチャンスをつかおう。

当選3回以下の若手議員8人も17日、国会内で合会を開いた。党再生のため、若手も責任を果たすべきだ」と、若手からの擁立論が出た。一部に玉木雄一郎、前原両氏らを「第2世代」とし、細野、長島両氏らを「第3世代」と位置づける見方がある。今回はさらに若い世代もチャンスをつかおう。

◆民主代表選で取りざたされるキーマン

**第1世代**

- 菅直人 元首相
- 横路孝弘 元衆院議長
- 赤松広隆 前衆院副議長

**第2世代**

- 玄葉光一郎 前外相
- 安住淳 元財務相
- 前原誠司 元代表代行
- 岡田克也 代表代行

**第3世代**

- 長島昭久 元防衛副大臣
- 馬淵澄夫 選挙対策委員長
- 細野憲志 元幹事長

**若手**

- 玉木雄一郎 衆院議員